

# 経済常任委員会報告



県内を中心とした観光客約1,000名を予定しています。今回が初めての事業です。

## 経済部農政課関係

**問** 家畜導入事業資金供給事業補助金を減額するのはなぜか。

**答** 当初213頭としていましたが、県の財政事情により県補助金が減額されたため、今回187頭に減らし239万2千円を減額しました。

**問** 園芸新たな挑戦強化対策事業補助金(アスパラ灌水施設)に関し、以前、県の補助事業は補助率が低いので、途中で補助率の高い国の補助事業に切り替えたケースがあったと思うが、農政事業における本市の基本的な方向性は、どのように考えているのか。

**答** 国の補助事業は、基本的に高額かつ耐用年数の長い施設が対象となります。一方、県の補助事業は、基本的に施設内の設備や備品関係の比較的安価なものが対象となります。県の補助事業については、補助率が原則として3分の1であることから、受益農家の負担を少しでも軽減させるため、国の補助事業並みの2分の1補助となるよう、市の一般財源を補填しているところ

**問** 市内の商工会は合併したが、今後の補助金はどうか考えているのか。

**答** 当面は、今までどおり同額で継続していきたいと思います。

## 平成20年度阿蘇市阿蘇山観光事業特別会計補正予算について

**問** 財政調整基金の残高は。

**答** 平成19年度末現在で5,006万3,583円です。

## 平成19年度阿蘇市一般会計歳入歳出決算の認定について

### 経済部商工観光課関係

**問** 市内の商工会は合併したが、今後の補助金はどうか考えているのか。

**答** 当面は、今までどおり同額で継続していきたいと思います。

**問** 旧町村単位で行われている夏祭りを、統合の方向へ進めようという動きがあるようだが。

**答** 夏祭り実行委員会からそのような話が出ています。

**問** 実行委員会で熟慮のうえ、方向性を決め、地域住民が納得するのであれば良いが、その辺も見据えているのか。

**答** 地域住民の方の理解が得られれば、統合したいと思います。



## 平成19年度阿蘇市阿蘇山観光事業特別会計歳入歳出決算の認定について

**問** スキー場はもう使用していないので、賃借料をどうにかすべきではないか。

**答** スキー場は撤去する方針ですが、原野管理委員会・牧野組合との協議が済んでいません。今後とも協議を続けます。



**問** 実行委員会で熟慮のうえ、方向性を決め、地域住民が納得するのであれば良いが、その辺も見据えているのか。

**答** 原野管理委員会・牧野組合との契約上では、撤去できる可能性はありますが、草千里関係の原野補償、交通安全対策、牛馬の事故対策等の絡みもありますので、事前に牧野組合の同意を得て撤去する方向で、現在協議しているところです。

# 建設常任委員会報告



いことから、今後警察と協定を結び、協議しながら判断していくこととなります。

## 平成20年度阿蘇市下水道事業特別会計補正予算について

**問** 一般管理費中の受益者分担金及び負担金の前納報奨金は、負担金の軽減措置がなされているが、下水道会計が市の財政を圧迫していることから、報奨金制度を見直す時期にきていると思うが。

**答** 今後、下水道審議会の中で検討・論議をお願いしたいと思います。

## 平成20年度阿蘇市水道事業会計補正予算について

**問** 水質検査委託料が100万円減額され

ているが、水質検査の場所、箇所数及び委託先はどこか。

**答** 年度当初に入札を行いました。検査については法定検査として、毎月検査と年1回の水源原水を調査する全項目検査があります。委託先は東洋環境分析センターであり、熊本市にあります。当初は600万円程度組んでいましたが、低額で入札できたので、今回、予算の組替えをして、減額にしたものです。

## 平成19年度阿蘇市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

**問** 乙姫にあるゴルフ場の温泉水が下水道に流されない理由は何か。

**答** 当初計画で温泉水はつなぎ込まないと

いうことで、事業計画がなされており、このため、内牧の温泉は下水道につなぎ込んでいません。仮に、ハイランド等の温泉をつなぎ込む場合には、内牧温泉を含む計画区域全域を対象としなければなりませんし、現在布設している管の布設替えを必要とします。また、現在の処理場能力をアップしなければなりませんので、莫大な経費が必要となります。

**問** 内牧の場合は河川の下流域にあるので、直接流しても問題なかった。しかし、乙姫の場合は火山岩のため地盤に吸い込む。そのため、住民と問題になっている。乙姫には特別につなぎ込むことはできないのか。

**答** 温泉水には色々な成分があり、それによる処理場の新たな整備、また、既存管の布設替えのためには約9億円の費用がかかりますので、現実的には難しいと思います。

**問** 下水道事業が進

行していくと、片方は維持管理・修繕の経費が増えていく。そうなる計画通りに面整備が進まなくなる。法的に他の事業に切り替えて進めていく等の方法は取れないのか。

**答** 常に、時代に即応した事業工法等の検討をして、一番効率的な方法を見つけていくべきだと考えています。

**問** 下水道促進審議会があるもので、下水道事業そのものを見直すべき時期が来ていると思う。それと、乙姫の施設の温泉垂れ流し、これは企業誘致と密接な関係が出てくるので、審議会と市議会で見解交換が出来る場を設けてはどうか。

**答** 今後、下水道審議会等で検討してまいります。

## 平成19年度阿蘇市水道事業会計決算の認定について

**問** 今後の課題として、老朽施設を更新して有収水率の向上を図ると

いうことだが、現在の有収水率はどれくらいか。

**答** 19年度で72・7パーセントです。

**問** 一般的に望ましい有収水率はどれくらいか。

**答** 消火栓とか防火水槽に入る水もあり、一の宮では火山灰が上がるので、10分から15分間程度、水を捨てたりしており、できれば90から95パーセントに持っていきたいと思えます。

## 阿蘇市営住宅条例等の一部を改正する条例の制定について

**問** 一部改正の内容は、公営住宅における暴力団の排除が求められること、

国土交通省の基本方針に沿って改正するものがあります。

**問** 暴力団員というのは指定暴力団員を指しているのか。

**答** 指定暴力団員を指していますが、指定暴力団員の特定が難し



一の宮の消火栓